



新年のご挨拶

一般社団法人福岡県計量協会 会長 古森 弘美

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、ご健康とご多幸を心よりお祈りし、又日頃より福岡県計量協会の推進にご理解とご協力をいただいております事に、感謝申し上げます。

近年物価高騰の折色んな分野で、値上がりを余儀なくされております。
最も深刻な食品関係は原料の高騰に伴い、ほとんどの製品が著しく値上げをしております。
中でも「米」問題ではかなりの値上げが生じております。現状農業を営む方は大半が高齢者で、後継者がおらず、今後何年間で生産者が少なくなると報告されております。
その前に、何とか日本農業が安定に生産出来る様に政府にお願いしたい思いでございます。

これからの計量協会も、後継者不足・計量士の高齢化等で退会を余儀なくされる方が増えてきております。
福岡県計量協会としては、今後は行政受託事業だけではなく、各関連機関及び団体との連携を図り、公益事業としての存在を示す取り組みが必要となります。

昨年は計量思想の普及啓発を図る為に、計量検定所をはじめとする関係機関・団体との共催で、小学生を対象に計量モニター、おもしろ計量教室等を開催、そして「計量強調月間事業」の計量記念日広報活動では計量に関わる、写真・絵・標語及び川柳、そして計量にちなんだクイズ・アンケート回答者の募集を行い、多くの方の応募数をいただきました。

計量は重要な社会的基盤となる大切さを知っていただき「計量」の魅力を伝えて行く活動をしてまいります。

計量業界は、社会の公正と安全を守る重要な役割を担っており、その役割を果たすためには協力と連携が不可欠です。

関係団体との連携を強化し、会員相互の交流や協力を促進してまいり、又消費者や産業界とのコミュニケーションも大切ではないかと思っております。

これからも、福岡県計量協会の存在意義や価値を広く伝えると共に、社会から求められるサービスを提供していきたいと思っております。

最後になりましたが、今年の3月にWBCが開催されます。過去の素晴らしい侍ジャパンの活躍ぶりをもう一度期待し、日本中が熱く盛り上がる事ではないでしょうか。

本年が会員の皆様にとりまして、飛躍の一年になります様、心より願い新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のあいさつ



福岡県計量検定所 所長 高橋 将継

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人福岡県計量協会の皆さまにおかれましては、輝かしき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より計量管理の推進、計量思想の普及啓発事業等を通じて、適正な計量の確保に御尽力いただきまして感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、福岡に世界的なスタートアップ支援機関である CIC (ケンブリッジイノベーションセンター) のアジア 2 か所目の拠点「CIC Fukuoka」やインド総領事館が開設され、福岡が世界との結びつきを強め、チャレンジしていくための架け橋となった 1 年でした。

一方で、国際情勢や円安の影響等により、エネルギー・原材料価格や物価の高騰が続いており、生活や産業経済は依然として厳しい状況にあります。

このような中、福岡県では引き続き県民の皆さまの安全・安心な暮らしと健全な環境を守ることを第一に取り組みを進めてまいります。

産業を育成し、県民の皆さまが活躍できる働く場を広げてまいります。県内の雇用の 8 割を占める中小企業については、持続的な賃上げと適正な価格転嫁による賃金と物価の好循環を図るため、関係団体と連携し取引適正化に取り組みます。

また、産業発展の礎となる産業人材の育成に取り組むとともに、いわゆる下関北九州道路をはじめとした産業振興の基礎となる交通インフラ整備や、企業誘致の受け皿となる産業用地の整備などを戦略的に進めてまいります。

計量行政においては、2017年に特定計量器に追加された自動はかりのうち、ホッパースケール、充填用自動はかり、コンベヤスケールの 3 器種については使用の制限を開始することが困難であると判断し、計量法上の検定対象から除外する改正が行われました。それによって上記の 3 器種については「自動はかりの検定対象」から外れる事となりました。

また、既使用の自動補捉式はかりの使用の制限の経過措置期限が 2027 年 3 月末となっております。期間間近での検定受検は、希望日程で検定実施が困難になるなどの支障が懸念されますので早期の検定受検へのご協力をお願いいたします。

今年の干支は「午」です。本年も、馬が疾走するがごとく、計量行政をスピード感をもって実行し、未来へと駆け上がる飛躍の年となるよう全力を尽くしてまいります。

新たな一年が皆さまにとって、素晴らしいものとなりますよう心からお祈りいたします。